愛國婦人會機關

愛國婦人

每月十日廿五日發行

（定價）一枚參錢五厘一ヶ月分七錢三ヶ月貳拾壹錢半年分四拾貳錢壹ヶ年分八拾四錢金國無遞送料郵券代用（壹錢又は五厘切手）一割增
廣告料五號活字一行四拾錢

發行所　東京市麴町區下二番町三十十番地大日本女學會內　愛國婦人發行所
發行兼印刷人　山澤俊夫
編輯人　手島益雄

會員の君だちに告ぐ

會長　公爵夫人　岩倉久子

編者云ふ、本號は本誌發行後一週年に當りぬれば、會長のみことばを請ひ得てかゝげまほしけれども、折から母刀自の喪に居ます程にて、心に任せず。由りて、本誌初刊に當り希望を陳べ給ひし文を茲に再び掲げて、會員の君方と共に、愛でたきみむねに副ひまつらむをこひ願ふになむ。

軍人は其身を犧牲として、國を衛るものなれば、何時の世何處の國にても、いと大切のものにぞある。殊に皇國の軍人は、外國のに優りていみじき名譽あるなり。かの日淸戰爭と北淸事件とに於ける勳功によりて、皇國は世界の强き國にかずまへらるゝに至りぬ。我等が皇國の臣民として名譽を有ち、安らかに世にありふるも、軍人の力を與りて多きに居る。

斯くも皇國の爲に名譽ある戰死を遂げ、或は戰死に準ふべき軍人の家に遺れる親族には、いたう貧しうして、朝夕の烟だにたてかぬるも數多かり。あはれ痛ましき極みにこそ。

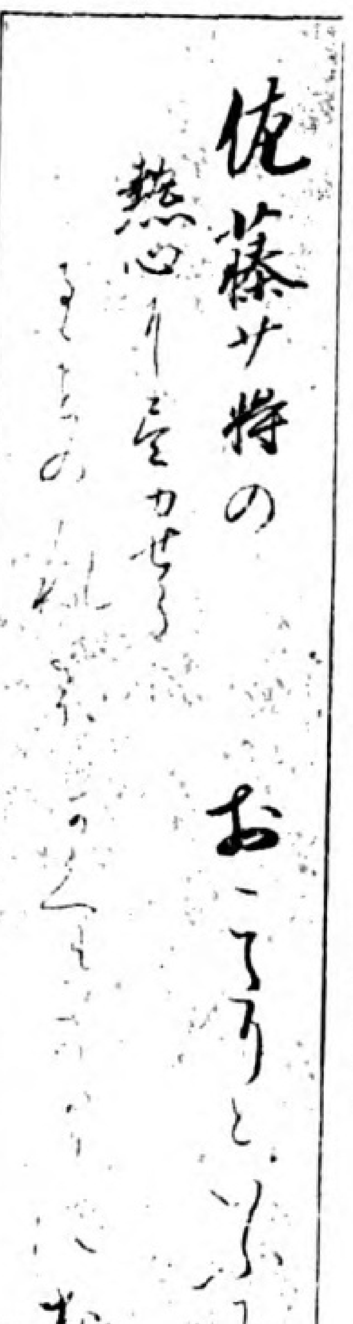
奥村刀自深くこれをうれたみ、女子は兵役の義務なき身なれば、せめて其が天稟の慈善の心を奮起して、是等の人々を救ひたらんには、軍人をして家を顧るの憂なからしめ、士氣いよゝ振はむとぞ言はれにける、實に最良き志なりければ、我等同感の者相謀りて、此會を設け立てぬ。是れ昨年二月のことなりき。爾來この趣旨を贊して集ひ給ふ會員等、日に月に增し加はり、今は萬を以て數ふるに至りぬれば、茲に機關の新聞を發行することゝなれるぞいとよろこばしき。

希くは、この新聞に依りて我會の趣旨をなほ廣く世に知らしめ、ます〱愛國尙武の精神と、勤儉質素の美風とを、世の母儀たり主婦たる人々に啓沃し、懦弱奢靡の弊習を一掃し、其が家庭に生ひたつ兒童をして、健全有爲の良國民たらしむるの資けと爲し、且つは、會員の間にも、氣脈を通じて、相戒しめ、相勵み、諸般の會務の處理に便を得つゝ、いよ〱我會の目的を達するに力を致され、婦人としての報國の任務を完うし、類なき大御代の御稜威を宇內に輝かされんことを、庶みてひとことかくなん。

社說

其本を忘るな

凡そ、樹木を培養せんとするには、まづ其根本を鞏固ならしめざる可らず、而して、其樹木能く生長繁茂するに至るも、徒らに、其花實枝葉にのみ眼をとゞめて、其根本を忘るゝ時は、いか程、麗しく匂へる花も、いか程愛たく結べる實も、遂には枯死凋落するに至らん。これと同時に、個人に在りては、まづ其身躰髮膚を授けられたる、父母の恩を忘るゝこと無くして、念々これを思ふべし。念々に父母といふものを忘れざる時は、必ず其恩に報ぜんとする心も起りて、次第に生長しめて行くべきなり。さて其父母てふ身の本を忘れざると同時に、其父母のもとたる、祖先を忘れず、また其祖先の大本たる、我が大御國の御祖先を思はざる可らず。抑もわが豐葦原の瑞穗の國の本つ起りは、何なるかと云はゞ、云ふまでもなく、神風の伊勢の山田に鎭まりまします天照大御神なりとは、凡そ大日本國にありとあらゆる民の、誰れかは覺えぬ者のあるべき。然らば、その天照大御神は、そも何事を行はせ給ひて、いかなる跡を、おほけなくも我れら國土の上に垂れ給ひしかと云へば、即ち久方の天津日影の曇りなきが如く、善惡を明かに見分き聞き分き給ひて、國を開き、民を治め機織耕耘其他百般の業を創め、あらぶる神の大御稜威に、はむかひしも、先非を悔いて服從せる者は咎め給はず、連らなる枝の、御慈愛こよなき、眞の同胞といへども、大神の御旨に逆ひて、惡しき行ひをせさせ給ふは、更に免し給はざりき。斯の如く公明なる大御心は、鏡の如く圓かに、劒の如く鋭く、玉の如く透明なりけん。その塵ばかり曇無き眞心をもて、御子孫の末の末まで國民に臨めかし、國民もまたその祖宗の神の御心をもて心とせよとてぞ、皇孫瓊々杵尊には、八咫の鏡は授けさせ給ひ、此鏡を視るとなほわれを視るが如くせよと宣らせけん。然るを人の世となりてより此方も、上れる代には、女性にしてなほ男さび、外征の大事を遂げ給ひしもありき。怒れる野猪のごと、あらび給はんとせし、豪邁の夫君を諫め止めて、却りて明君の名を顯さしめ給ひしもありき、或ひは波をかづきて夫の死に代り、領巾をふりて、忠魂を異域にとゞめしもありきかし。嗚呼今は無いかな。その男女性を通じてだに遠く男性の上に超卓し給ひし祖宗の大神を戴ける、わが日本國の女性、今この空前の革新を促されつゝ、ある時に遇ひて、そも何事をなしつゝあるか。中世以降單一にたゞ男子が奴隷的支配のもとに生活して、知らず識らずも卑屈隱險なる、第二の性を養成せられて、今日の女性と化し去りたる、同胞姉妹にむかひ、今俄かにして、畏けれども、わが皇祖の大御神の如き、大偉業を企圖せよと望むにはあらねど、せめては、その大偉德の御蹟をだに、審かに溫ね知りて、心を廣うし、身を潔くし、弱き力なりとも、多く集めて圓滿に、永遠に、能く婦たるの道を行はれよと望むなりけり。世に怜悧といはれ、又は少しく學問もありといはるゝ女性の、徒らに我れさかしらに、人をおとしめ云ひて、この廣き世界に、一人舞臺踏まんとせらるゝなどのなきにしもあらずと聞くぞ笑止なる。希くは圓滿と高潔とを以て心とし、眞心てふ形ちを作り出でたる、八咫鏡の淸きに仰ぎ習ひて、其本を忘れず、其末を努めよとこそ云はまほしけれ。



會長　公爵夫人岩倉久子筆

愛國婦人會秋田支部の發會を
祝ひ松によせてよめる
　秋田縣支部幹事　大野ことり子
すゑ遠く榮え行くらん岩倉の
　御山のもとにうゑし姫松
ことし生の二葉の松の若みとり
　などか古木にたちおくるべき
同じく竹によせてよめる
ふりかゝる雪はものかはとしつきを
　つみかさねてそしけるなよ竹
同じく梅によせてよめる
雪の中にほころひそめし梅の花
　世にいちしるく香のにほふらむ

愛國婦人の一週年を祝ひて
　東京府會員　松下たか子
いやましにめつる人々數そはん
　誠こもれる花のふみまき
愛國婦人をよみて
進みゆく御代そうれしきゐなからに
　つゆにうるほふやまと撫子

愛國婦人第廿號の附錄を見て
　岡山縣會員　佐藤ふさ子
うつしゑを見るたひ每にうるはしき
　わかき心のほとそしらるゝ

撰歌に入りし人を祝ひて
　評議員男爵夫人　三井苞子
久方の雲井のにはにうくひすの
　きこえあけたるこゑのゝとけさ
同　評議員　濱尾作子
ことのはのしげき林にぬけいてゝ
　高きにほひをしめし君かな
同　同　中山幸子
うるはしきみそひともじをかしこくも
　なみ〱ならぬかすにいられし
同　兵庫縣幹事長　服部鈴子
人みなのほむる聲々とよむなり
　ことはの海はさちこそ有けれ

電話番町壹千三百三十番

◎本號には附錄として本會總裁閑院宮妃殿下の肖像を添ふ尚本紙創刊滿一週年を祝する爲め特に十頁とせり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

演説

◎占守島の話

海軍大尉　郡司成忠

此一編は去にし十五日女子美術學校に於て大尉かものせられたる演説中の數節なり、文字の責は記者にあり。

○占守島への移住　占守島は東京から航路で二千哩ばかり北へ偏在して、餘り離れて居る處でありますから多く世人に紹介されて居ないが、私が此島に往きましたのは明治廿六年でありまして、今日まで魚を漁ッたり獸を捕ッたり、そんな事ばかりして居りますが、何も是ぞと云ふことは仕出來しませぬ。元來私が何故に此地に往ッたかと云ふに、廿五年に天皇陛下が片岡侍從を千島に遣された時、同侍從か占守島に就いての視察によれば、同島には外國人が住居して居ッて臘虎獵をやッて居る、然るに此地に外國人が永住して日本人は一人も居らぬとなッては國際公法上其島の所有權が他國に移るに至る、かくては國家の一大事である誰か進んで移住するものはないかと云ふ侍從の演説がありましたが、それが私の心を動かした一の原因でありまず、併し其以前より自分は占守島の事をよく知ッて居ましたそれは露西亞の新聞の社説に日本で守る事の出來ぬ島は露西亞で守る權がある又露國の國防上千島の半分を取らねばならぬといふ論を立た事があり又議論のみならず實際上露國に取ッては千島はその鑰門であるから露國は非常に之に着目して居る然るに日本の警備は此方面に屆いて居らぬ是等の點よりして私が移住した次第であります。

○露領の富源　占守島の對岸なる露領東塞加と云ふ土地は今より十年二十年以前までは不毛の土地で、世に知られて居なかッたが、段々探檢の結果非常なる財源があると云ふ事が世界中に知れ渡ッて、今では世界各國のものが多く其處に入込んで事業を計畫して居る。私も占守島移住後第一に探檢を試みましたが、土地は如何にも立派にして産物に富んで居る、硫黄山もある、砂金の出る川もあるが、是等は自分に專門の學識がないから十分の取調も出來ぬが、漁業は確に利益があるとを認めて歸ッて、此事を漁業家に相談した處がなか〳〵動かない。その內に露西亞人の企業家が自分の説に從ッて漁業を試みた。果して大漁を得て七万石、百四十万圓の魚を捕ッた。それで日本人も大に眞似をする樣になッて益々盛大にならうと云ふ際に當ッて、此に一の障害が出來た。それは北州丸と云ふ船が魚を積んで歸りがけ、占守島の近傍で暗礁へ乘上げて沈沒した。此出來事によッて保險會社も此航路に保險を付けなくなるし、漁業家は之に資本を下さぬ事となり、折角發達しかけた漁業も挫折して仕舞ふ事になりました。

○婦人と海事思想　元來婦人が社會國家に於ける勢力は隨分非常なものでありますが、英國の人に聞いて見ると同國にては其國の發達の原因は海事に在ることを一般に認めて居るにより婦人の好む處は海のために働く人である、次に佛蘭西の婦人に聞くと同國の今日あるは陸軍の力にあるか故に陸軍々人を非常に好む。又伊太利の婦人は一風違ッてをるそれは宗敎道德美術哲學の四つが世界に廢まれば世は平和であるといふ國是であるから、同國の婦人は宗敎家道德家を尊敬して居る、それで男子も此勢力の集まる方面に志願するものが多い。さて日本婦人は何が嗜きてあらうか私は其好な處はよく分らぬが、確に其嫌ひな方は私が知ッて居る夫は海上の人間を嫌ふことである。今日我國の財政か發達せず、不景氣なりと云ふ原因は矢張り婦人が海と海の上の人が嫌ひてあると云ふ事である。

論説

◎結婚革新論

文學博士　井上圓了

本篇は博士か洋行途中より(敎育界)に寄せられたる論説なり。いとおもしろければ、其一節を收錄して會員方に紹介す。

○婚姻の改良は社會改良の始めなり　文物百般の革新に伴うて風俗習慣及び儀式の如きも亦面目を一變せざるを得ざるは勢の免かるべからざる所なり。然るに我邦の革新が未だ此點に及ばざるは何ぞや、是れ我革新の年を經ること尚ほ淺きに由ると謂ふより外なし。然らば之を自然の勢に任ずるも數年の後には必ず新面目を現出する日あるべしと雖も、其期を早からしむるは實に今日の急務にして、亦余輩の任ずる所なり。故に余は平素聊か此に見る所ありて、第一着手に婚姻の革新を實行し以て社會改良、風俗矯正の端緒を開かんと欲するなり。

○日本の婚姻には飮食を主とす　夫れ結婚は社會の大禮中、最も重要なるものにて、其儀式も身分に應じて鄭重に營まざるべからず。然るに我邦の結婚は往々身分不相應の式を擧ぐることあるも、其式の九分通りは酒食にして、通夜連日、多數の賓客、牛飮馬食、以て大に祝し得たりとなす、從て其經費意外の多額に上り、弊害の波及する所亦極めて大なるを覺ゆ。余西洋諸國の結婚を見るに、儀式其物を主とし、飮食は僅に之が伴たるに過ぎず。然るに我邦の結婚は飮食主となり、儀式從となり、其所謂婚禮中より飮食の二者を除き去らば、餘す所殆ど零に近き有樣なり。是れ豈文明國の結婚と謂ふを得んや。又近來歐米の結婚を摸擬して、新婚旅行を營み、儀式を略するものあり、新婚旅行必ずしも非議すべきにあらざるも、旅行のみを取りて儀式其物を廢するは、譬へば洋服を着せんと欲して「ズボン」だけを穿ち「チヨツキ」「コート」を廢するものに同じ、不體裁も此に至りて極まれりと謂ふべし。是に於て余は結婚の儀式を一定するの必要を感ずるなり。

○結婚は儀式を主とすべし　西洋諸國にありては結婚の儀式は必ず寺院に於て之を擧げ、夫婦兩人神前に立ち、住職導師となりて、宣誓を行はしむ、其間奏樂あり、唱歌あり、親戚朋友皆其席に列し、儀式最も莊嚴なり、其式一時間內外にして結了し、後に私宅に於て近親の者を饗應することあるも、所謂「ウエツデング、ブレキフアスト」と稱し、冷肉を用ふるを例とす。即ち我邦の冷飯茶漬に比すべきものにして、比較的質素のものなり、是れ余が西洋の結婚は儀式を主とし、飮食を從とすと云ひたる所以なり。我邦も亦此風に倣ひ、飮食を質素にして、儀式を鄭重にせんことは是れ余が專ら望む所なり。

○我國の結婚を國家的にすべし　西洋の結婚は宗敎的なり、我邦の結婚は非宗敎的なり、されば今より大に改新して、此の非宗敎的を宗敎的に變ずるは種々の非難もあり、又困難もありて、容易に實行すべからず、故に余は西洋の結婚が宗敎的なるが如くに、我邦の結婚は國家的となさんとす、而して國家的とは何ぞや、我邦の國家は世界萬國と其類を異にし、皇室其中心なり臣民其外圍となり、幾千萬の同胞は三千年間一系連綿天壤無窮の國體を維持して來るものなれば、斯る國民の結婚は又必ず皇室に對して宣誓する所なかるべからず、換言すれば余が所謂國家的結婚とは、小學校に於て陛下の御眞影に對し奉り、自今夫婦となりて、共に國家の爲めに力を盡し、皇室の爲に身を致すことを誓はしむるを云ふ。今其方法を述ぶるに、甲某と乙某と共に結婚せんとするに、豫め其式を擧ぐるの日を期し、其場處は必ず最寄の小學校と定めて、兩人の親戚朋友に通知し、兩人當日は時間に先ちて親戚朋友小學校に至り、兩人の來るを迎へ、其校內には豫め講堂に聖影を奉安し、以て式場に充つるの準備をなし、生徒數十名をして、特に結婚唱歌を誦せしめ「ピヤノ」を以て之に和せしめ兩人の此に入るや、先づ聖影に對し奉りて敬禮を行はしめ、次に校長は勅語を奉讀し、次に兩人は「夫婦相和し」の聖諭を遵奉するの宣誓を行ひ、其前後に媒妁人及知友の祝文を朗讀し、其都度音樂唱歌を奏せしむるに至らば、其儀式堂々として實に觀るべきものあり、毫も西洋の結婚に讓らざるのみならず、國民的精神を發揮するに至ては、遙に歐米の宗敎的結婚に優るべきは論を俟たず、斯くして其式を結了すれば、其席に於て來賓一同へ酒肴の代りに茶菓を呈することゝし、以て從來の牛飮馬食の弊を除くは婚風上、經濟上、共に大なる利益あるは明かなり、是れ余が婚禮革新案の大要にして、其詳細は此に畧す。

◎

つゝましき新手枕のこゝろなは
　いもせの後の末もわするな
　　嵯峨公

かくて世にふるの高はし行末も
　君をそたえすたのみ渡らん
　　萬秋門院

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

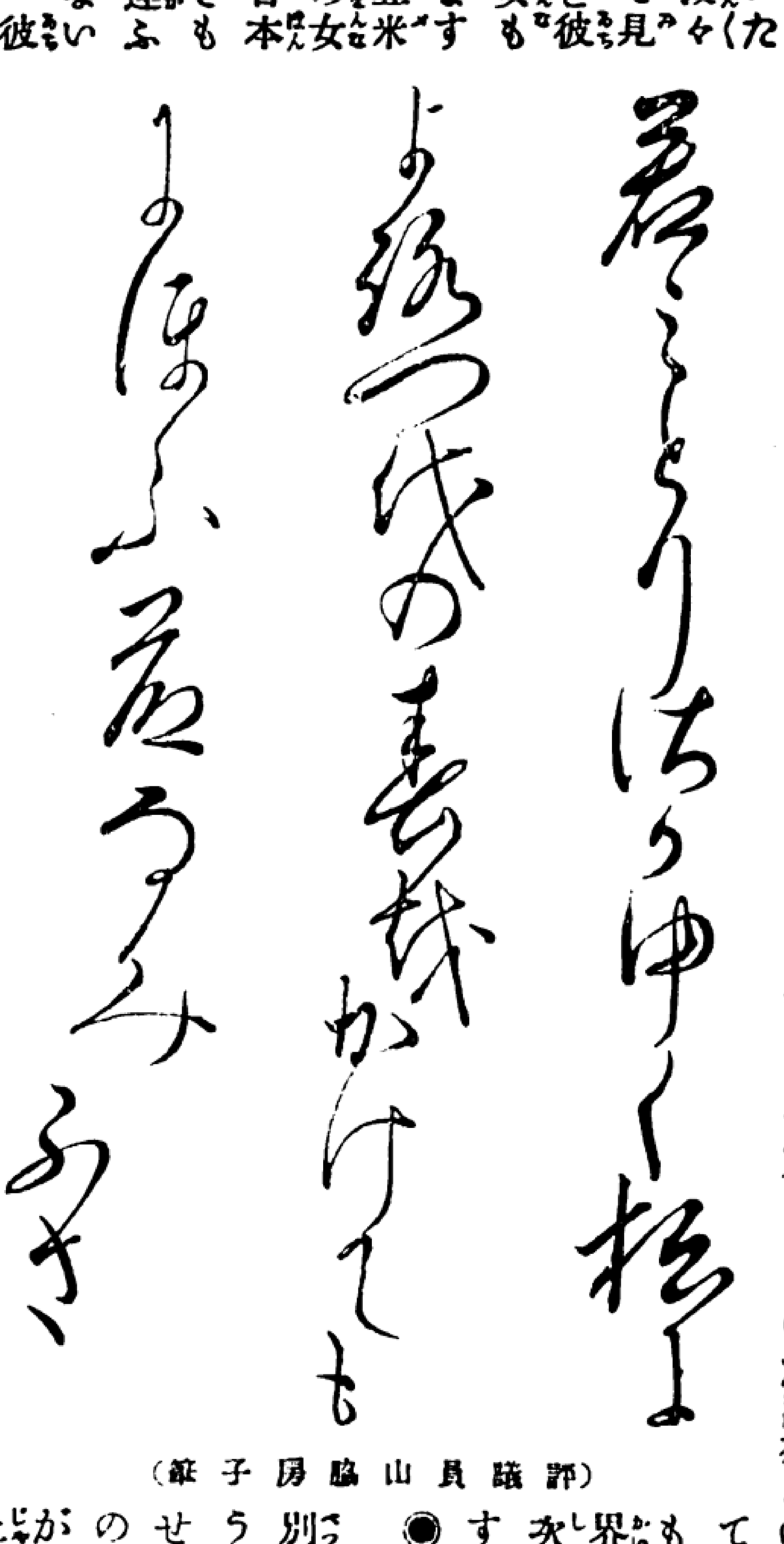
◎女子躰育談

女子高等師範學校敎授　井口あくり子

◉女子の躰育　健全なる精神は健全なる身躰に宿ると申す諺の通り、精神身躰共に健全なる日本國民を作らんとするには、其根源たる日本婦人の身躰を健全にせねばなりませぬ。日本今日の躰育は男子の方より女子の方は餘程進んで居りませぬ、それを進ませて往くには、女子自身が熱心になりて其方に心を傾け、男子の力を藉らずして自分自身にやッて往くの決心がなくてはなりませぬ。然るに日本婦人は此勇氣が欠けて居るのであります、それは單に躰育の方面ならず、總て女子の事は男子より氣付けらるゝとか、又自分が氣が付て居ても改良の方面に勇進して往く事はなさないのでありますが、之れは大變勇氣のない話しです。今日女子躰育に付いて世間よりも注意せられ、其氣運に向うて來た時代に於ては、先づ女から擢んでゝ自分が其責に當ッて、熱心にやッて往かねばならぬと思ふ。併し物の改良進歩を計る始めに於ては、多少社會より非難を受けるものである、假令ば擧動が女らしくないとか、出過るとか云ふ批評を受けるかも知れぬ、而し左樣な事は構はずに、ずん〳〵進んでやらねばならない事と思ひます。又男子の方も其事を進めた上からは、多少の弊害があッても夫れを惡く言はないで、助けて下さる考がなくてはならぬと思ひます。

◉躰操遊技の敎授法　私が歸朝後各學校を參觀して氣の付いた一つは、敎授法の善惡であります。同一の躰操遊戯でも、其敎授の仕方一つで其目的を達するものと否との差があります。一人の敎師の敎へて居るを見ると、大變に生徒が精神を籠めて熱心に愉快さうにやッて居る、然るに或る敎師が同一の躰操をしてをるのを見ると、生徒がまるで死んだ樣に見える、死んだものが手や足を動かして居るやうに見える。そこで私の思ふに、必しも新らしき遊戯躰操でなくては其目的が達せられぬと云ふものでない、要は敎授の善惡によるものであッてつまり躰操と云ふものは、精神が快活になッて、見て居ても心持ちがよいやうでなくてはならぬと思ひます。

◉女子に遠慮は無用なり　日本の各學校の敎師は、女を敎へるも皆男子であります、さうして男は女が弱いからと思うて、斯う云ふ事は餘り强過ぎるからとの遠慮からして、女を其方へ導く事を止める有樣でありますが、左樣な遠慮は無用な事であります、決して男の方の思ふ程女は弱いものでありませぬ。是は何だか女を代表して言ふやうでありますが、私はさう言ッて宜いと思ふ、其證據には私が彼地へ參りまして、躰操の學校に這入ッて見ますに、男と女と躰操の種類に變りはありませぬ、兵式躰操器械躰操も女が致します、日本の如く手を動かすとか、足を動かすとか云ふ樣な柔しい事でない、跳ることも飛ぶこともあり、綱にも登り高い處へ上ッて落て來なければならない事もあり、中々むつかしい。始めはさう云ふことに出逢ッて躊躇して、危いと思ッたり、怖いとも思ッたが、段々考へて見ますと彼地の女も致しますし亞米利加の女でも日本の女でも女の違ふ筈がないから、彼地の者が爲る事ならば、私も爲て見て出來ない事はあるまいと、一旦心を極めた後は矢張り彼地の女に連れて爲て見ました。始めは身躰が痛かッたり、隨分難義もありましたが、夫れは極く最初の事で、段々にやッて慣れば甚だ壯快だと思ふ樣になり、危い事も怖く思はぬ樣になりました。其結果今では胸も廣くなり、身躰が輕くなり、又筋肉が堅く、力が這入ッて來たのは、全く躰操の御蔭であります。私一人の例を以て日本全國の女に適用することは出來ませぬが、兎も角も爲て見やうと思ッて出來ぬ事はありませぬ、日本では女だからと云ッて爲ずに置いて、出來ない〳〵と愚痴を思ッて居る場合ではないと思ひます。



（評議員山脇房子筆）

◉女子と躰操學校　米國ボストンの躰操師範學校に於ては、男子も女子も入學を差許すのでありますが、實際女子の外入學をするものなく、私の次の組に只一人男子の學生が入學して居りましたが、遂に卒業をせずに退學しました。何故に躰操の如き荒らく〳〵しき仕事にまで女子が志願するかと申すに、米國にては敎育の事は多く女子が司どッて居りまして、中學校程度の學校でも、女子が躰操科を受持ッて居りますので、男子は多く實業の方面にのみ從事して、敎育などに從事するものは實際ないからであります。又米國では女子は男子より一層高尚な敎育を受けまして、女子にも中々やりてが多いのでありますが、夫れは女子は實業の方面にも立働く事は出來ず、靜かに學問するより外に仕方がありませぬから、自然奥深くまで進んで學理を研究するものが出來るので、從がッて立派な婦人も出來婦人社界が權力ある次第であります。

◉上流の婦人　米國には別に貴族と云うてはありませぬから、金の澤山なものが、要するに上流の婦人と云はるゝのでありますが、米國上流の婦人の遊戯と云うては、自轉車は既に廢れて、此節では自働車又は美しき馬車に乘ッて只ぶら〳〵市中なり公園なりへ出るのであります。夫れには服裝を美しくして人に見せるので、格別躰育の目的ではありませぬ。所謂派手を飾ると云ふの外はありません。又夏などは米國ボストン市などでは、中等以上の人は皆避暑旅行に往きて、家がすッかり閉されて商賣も爲めに止まる有樣であります。避暑地でも上流の婦人は衣裝の着競べと云ふ有樣て、毎日毎日着替へて、外に出て、夫れが取替へられぬ樣になると、又轉地して他の避暑地へ往き夫れを繰返すと云ふ有樣て、餘り譽められた話しではありませぬ。

◉流行する遊戯　米國に於て此節盛んに流行して居る運動的遊技は、廣い場所を要しますが、ゴルフと申すのが流行して居ります、之れは槌と毬とで出來る遊びて、此遊戯は男女老幼の別なく一家悉く揃うて遊ぶ事の出來る遊戯でありますから、家族一同打連れ此遊戯をやッて遊んで居ります。室內遊技としては別に發達したものはありませぬが、外國には一躰に音樂が流行して居りますから、夜分などは家族團欒して音樂を奏すると云ふ風であります。

みやび會員詠藻

○○家　群馬　下村繁子
春風のふく心地してのどけきはむつましき家のまとゐなりけり

○○同　茨城　柴　雛子
ゆかしくもびやのゝ音さへ響く也こはたがすめる家にかあるらむ

○○同　岡山　陶　涙數子
よそめにはいぶせかるべき伏廬もゞろればたまのうてななりけり

、、○困難　大阪　大高たへ子
ふみまよひ知らぬ旅路をいかにせむせなの子は泣き日は暮んとす

、○同　愛媛　石川君子
父母の心の中を思ひやりやみふすはかり苦しきはなし

、、○幸福　埼玉　上原とわ子
あやの衣こかれのかさし何かせむ憂ひなき身にますさちはなし

、○同　鹿兒島　松田まん子
あはれなる瞳の少女を見る時ぞ我身のさちを思ひ知りぬる

、、○貯金　長野　清水しげ子
たくはへしかひやなからんわが實人の爲にも用ゐざりせば

、○同　大阪　大高たへ子
人々のたくはへつめる寶こそ國の富むべきもとゐなりけれ

、、○快樂　岡山　淺沼てい子
醉ひしれてさわくはかりを樂しとや思ふなるらん世のうかれ人

、、○同　大阪　松村初子
たゆみなくはげみししるしあらはれてわさなし遂げし時ぞ樂しき

、、○希望　兵庫　中村益子
父母のつゝかなかれと思ふこそれかひの中の願ひなりけん

、○同　岡山　田中勝子
をさな子の絵顏なかめて親心世にたつ末を願ひこそすれ

○○若菜をつみて人に贈るとて　山口　高津きん子
つみえつるしるしはかりの初若菜たゝ嬉しさをわかつなりけり

、、○同　廣島　奥山京子
はつ根芹もすそぬらしてつみためつ君にみせむと思ふあまりに

、、、○愛國婦人會特別會員のはしに列なりて　兵庫　中村益子
なまよみの甲斐なき我も國のためつくさん人の數にいらはや

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

家政

◎家政要領

家事衞生　食物

一、人の健康を保ち得るには、一日に何程の食物を用ゐて足れるかに就ては、夙に學者の研究せし處にて、獨逸のフォイト博士は

蛋白質　一〇五瓦
脂肪　九八瓦
含水炭素　四〇〇瓦

を以て其の國の中等勞働者の保健食料と定めたり。而して藥學博士田原良純氏は日本人に適當なる保健食料を左の如く定めたり。

蛋白質　九六瓦
脂肪　二〇瓦
含水炭素　四五〇瓦

然るに醫學博士森林太郎氏は

蛋白質　七一瓦弱（日本の目方にて廿二匁八分）
脂肪　一四瓦強（同じく三匁七分）
含水炭素　五二四瓦強（同じく百三十九匁四分）

を以て日本の中等男子に適當なる需用料にて、即ち此食料にて十分勞力を爲すに足れりとせり。

一、總じて食品は一種にて各種の滋養質を含むものに非ずされば、穀肉蔬菜を混合して常食と爲すべきものなり。歐米の習慣に倣ひて、肉食の利を主張すると近頃日本に於て盛んなれども、是れは實に其必要なき事なり。

一、如何に滋養質に富む食物にても、調理の仕方よろしからずして、其消化惡しく、躰内に吸收せざる時は其效なきものなり。凡そ吸收の良否は食品の性質料理の方法にも由るべけれど、一には又習慣にも由るなり。日本に於て從來病人に用ゐる粥面は、分析上さまで滋養多からざれども思の外に效能あり。是れ日本人が米食の習慣によりて吸收の宜しきが爲なりと云ふ。

◎家計收支の實況に就て

伯爵　柳澤保惠

此の一篇は記者の訪問に對して伯爵の談話せられたる所なり誤りの責は記者にあり

貴紙に毎號揭げらるゝ會員より報知の家計收支の實況は頗る有益に思ふ元來家計の事は一般に於ては秘密に付せらるゝ爲、歐洲に於ても之を統計にとつたものがなく過日吳氏の報知された獨逸の統計大家故エンゲル氏の調査にかゝるもの位ゐである。氏の調査も中流以上の家に就て迄一々調査したものではないが先以て正確の比例表と云はねばならぬ、扨右の表にも示すが如く下等の生活者程割合食料に多きを要するは事實にして其原因は第一に下等勞働者程子供が多い、之も各國の統計上に示して居る處で大概上流社會の二倍に當る、夫は何故であるかと云ふ事は統計學上には研究外に屬するが、何の國の統計でも下等社會が子の多いと云ふ事は顯はして居る故に食料の多い道理である。夫て各會員の報知て一々金額を擧げてあるが各費目に對する百分比例さへ擧げれば知れる、而し素人には金額を擧げた方が知れ易いかも知れない。又一ケ月丈の實際の收支では價値が少い。一ケ年を平均した一ケ月の額でなくては一家の收支の實況は知れぬ譯である。自分も暫く洋行して居ツたから家政の事は總て執事に任してあツたが前年分は各科目を別ちて表に作ツて見る事にした色々科目の別方もあるが何れの科目に編入すべきか能知れぬものがある、例へば瓦斯なども此應接室を温める爲に使用する瓦斯と、臺所にて食事用の瓦斯とは其費目が異なる道理である。夫で自分の內の科目は四十餘科目に分かれた其表が出來上れば貴所にも報知するが元來社會の貧富を知り國民の生活法等を知る事は確實なる統計によらねばならぬ。歐洲の有名な都府にては市に於て調製したる貧富町村色別圖か出來て居ツて大概等級を七等に別ち、之を色別けにしたる詳細なる地圖が出來て一見貧富の區別を明にする樣に出來て居る。日本では未だ中々そこ迄は進まぬから斯樣な調べは日本に一つもない。夫て先づ自分は舊藩の城下なる郡山は二万程の戸數で調べも先づ易いから、自分の力で目今調査さして歐洲の例に慣ひ之を七等に別ち地圖を作り、之を內國博覽會に出品しやうと思うて專ら調製中である、東京市に於ても市の事業として夫位の調査はせねばならぬ事と思ふ。而し夫れを正確に調へるときは商家等にては資産を裝ふ事が出來ぬから反對をする者があるかも知れぬか國家の爲め調へねばならぬと思ふ。

◎家計收支の實況

神奈川縣橫須賀町　會員　某報知

毎號の紙上に家計收支を拜見いたし私も割合多き所を改め度心掛けて居りますが何分十分に參りませぬ左表は餘り亂雜にして御恥しく存じますが豫定表と實際表とを各別に調製して差出しますから何卒御批評を願ひます　小供の衣服料及教育費を各別にするは小兒にも幾分か貯蓄の觀念を養はしめんとの意に過ぎぬ次第でありますが其可否についても御批評を願ひます。

明治三十六年二月分家計收支

一家族　夫・婦・小兒二人（五歲と二歲との男兒）下婢一人
一收入金八拾九圓五錢　二月分俸給
一支出金八拾六圓八拾九錢貳厘

內譯

金拾圓	家賃
金八圓	米代
金六圓五十三錢五厘	副食物費
金七十八錢四厘	味料
金三圓二十九錢	薪炭油費
金三圓八錢	酒煙草代
金一圓五錢	菓子果物代
金二圓八十錢	主人辨當代
金五圓二十五錢	主人衣服費
金一圓	主婦衣服費
金二圓八十七錢	長男衣服費
金二圓三錢	娛樂費
金三圓二十錢	備品費
金二圓五十錢	税金
金三圓八錢	保險料
金九圓五十八錢	衞生費
金三圓八十八錢五厘	交際費
金二圓	慈善費
金一圓二十九錢三厘	新聞代及通信費
金二圓五十錢	下女給金
金三十二錢五厘	雜費
金八圓	教育積立金
金三圓八十四錢	臨時費

殘金貳圓拾五錢八厘　貯蓄

明治三十六年中家計收支一ケ月分豫定表　但し家族は前同樣の事

收入金八拾九圓五錢
支出金八拾六圓五十八錢

內

金十圓	家賃
金二十七圓	日常費用
金四圓	主人用酒煙草費
金十圓	主人小遣及被服費
金四圓	主婦用同上
金三圓	長男用同上
金二圓	次男用同上
金二圓五十錢	税金
金八圓	教育積立金
金三圓八錢	保險料
金二圓五十錢	下女給金
金三圓	交際費
金七圓	衞生費
金五十錢	慈善費

殘金貳圓四拾七錢　貯金

評　教育費を今より積立てらるゝ、子女の被服料を別途にせらるゝ、用意いと愛でたし。但し被服の豫算はやゝ多きに過ぐるが如し。子女は交際社會に出づべきものならざれば、衣服は清潔だに保ち得れば足れり、決して價高きものを要せず、我會の評議員鳩山夫人は、其子達に双子織以上の服を用ゐしめ給はずと聞く、宜しく倣ふべき事なりと思ふ。衞生上よりも亦、襯衣は木綿に如かず、絹は用ゐるべからず、フランネルも膚にかゆきものを生し易しと三島博士は云へり。

◎各地特殊の料理（寄稿を募る）

（一）馬鈴薯のかり〳〵煮

東京府西多摩郡會員某

馬鈴薯の料理法は種々ございますが、一寸總菜にもなる輕便の料方を東京の友人から敎はりましたから御報知申します。

馬鈴薯の皮をむき銀杏形、小粒ならば月形に、一分位の厚みに切り、水に二三十分間漬け置き、然る後水を能く去り、松魚節の煮出し、酒・醬油・砂糖よき程に入れ、少しかり〳〵する位に若煮にするのです。

（二）五平餅

信州伊那愛讀者　報

先頃來誌上て、いろ〳〵珍らしき料理方を拜見いたし、居ながら諸國珍味の御馳走に預り、誠に結構で御座いました。就ては私も何か御知らせ致したいと存じますが、何分信州の山里で、別に珍味も御座いません。併しながら、山里にも、亦自ら長閑な所が御座いまして、冬は農家も暇で御座いますから、時々近所の人々が寄合まして、子供の話や機織の話などしながら「五平餅」と申すものを拵へます。此餅は伊那に特殊の物の樣に聞きましたゆゑ、一寸其仕方を申上げます。

先づ御飯を炊きまして、少し冷めました所で、其れを擂木で潰し、其れを小さく捩ッて、握飯をむすぶ樣に握り、其れを串團子の樣に、一串に二つ宛竹の串に刺し、火にかけてあぶり、能く燒けた所で、砂糖味噌か、胡麻味噌か、或は胡桃かなど付けて、又少し火にて燒めて食べるので御座います。

是れは固より一人でも出來ますが、大勢寄合まして、握る人、串に刺す人、燒く人、味噌を付ける人といふ樣に、多人數で出來て、誠におもしろく、寧ろ食べるよりも、拵へる中に興味が御座います。さりながら、亦食べて一入の風味が御座います。

（三）米津膾

東京青山高樹町某女

大根の皮をむかぬまゝと、葱とをいづれも稍大きく削ぎ、其れに鹽鯖を能き程に切りたるを入れ、是を三杯酢の中に、凡そ二週間程つけ置きて、酢と鹽との加減を見、若し大根より出る水の爲に、酢や鹽が利かねならば、再び足してよし。（鹽鯖の代りに鹽鮭を用ゐてもよろし。）

此膾は米津子爵家の祖先勝政侯東照宮に從軍の砌、一日酒を進めんとするに下物なし、周旋して漸く鹽鯖・大根・葱の三品を手に入れ、倥偬の際、脇差の小柄にて料理して進め參らせしと云ふ。其後米津家の家中此形を取りて、正月の吉禮に用ゐることとなれり。（編者云ふ、米津子爵家は羽前長瀞藩主にて、維新前に上總大網に國がへとなりし事なれば、是は羽前の料理法にて米津家特殊のものなり。）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

特別廣告

閑院宮妃勳一等智惠子殿下本月二十日本會總裁に御上任遊ばさる此段會員諸君に告ぐ

明治三十六年三月　愛國婦人會

◎愛國婦人會第二回大會に於ける総裁殿下の御諭旨及び會長の奉答

別項特別廣告の通り、閑院宮載仁親王妃智惠子殿下こたび我會總裁に御上任遊ばされ、去にし廿二日の大會に御臨場、左の御諭旨を賜はりたり。

御諭旨

我が愛國婦人會は諸氏が赤誠を集めて能く慈惠の美果を着くる事を得んとす今よります〱斯會の培養に怠らずば遂には君國のために身を致したる幾多軍人の忠魂を慰め遺族の窮困をも救ふ事を得べし我れ今日諸氏の望みに從ひてこゝに總裁たる事を諾し以て斯會前途の發達を希ふ

又會長の奉答左の如し。

奉答

久子恭しくこゝに殿下の令旨を拜することを得て恐喜措く所を知らず久子等嘗て竊かに軍人遺族救助の道を講じ同志を糾合して鞠躬事に從ひ旣に二年の春秋を閱すと雖も未だ全くその素志を遂すると能はざるを憾みき然るを今幸ひに殿下久子等が懇請を容れ給へり仰ぎ願くば爾後ます〱奮勵して斯會の發達振興をはかり優渥なる殿下の御旨に違はざらんことを期すこゝに謹み畏みて奉答の辯辭を呈す

明治三十六年三月廿二日

愛國婦人會々長公爵夫人岩倉久子

◎愛國婦人會第二回大會

かねて報せし如く、去にし廿二日午後一時、九段偕行社に於て、我會第二回大會を開きたり。當日は大祭日に日曜をかねたる、めでたき日にも拘らず、朝まだきより雪霏びて天候すさましき狀なりしが、巳の刻の程漸く空霽れて麗かなる日影はさし初めぬ、實に今日の天氣は我會にとりて天佑とや云はまし。曉來大空のみ氣遣ひて眺めたりし人皆の心は綠の空と共に晴れたりき。さても會場の設備を概述せんに、正門に幕を張り大國旗並に京都支部より寄贈に係る會旗を交叉せり。玄關なる受附係を經て屋內に入れば、左右の各室は評議員幹事室事務室醫師控所附添女中室休憩室豫備室等あり。樓上には總裁殿下御座所貴賓室來賓室會者休憩室宴會室等あり。尙ほ屋後に出づれば各國の旗及無數の毬燈を吊し菓子分配所軍樂隊屯所の設けあり。それより庭園なる式場に至れば、總裁殿下御座所來賓席理事席評議員席幹事席會員席餘興場茶菓所等あり。且つ屋前には下足番二個所給使小仕人足控所馭者控所馬車人力車置場をも設けたり。職員たる婦人方はそれ〱受持の部署に就き、來會者を待受けたるが、定刻に近づくや、馬車人車相つゞき、來賓には島津二條兩公爵松平伯爵岡部松前佐竹三子爵清浦千家澁澤花房四男爵伊豆川崎堀內三小佐出京中の知事警部長及び新聞雜誌記者等にて、やがて君が代の吹奏を以て殿下は黑色の御洋裝にて會長代理近衞理事の御先導、男爵花房別當等を御召連れ樓上なる御座所に入らせられ、重なる職員貴賓等に拜謁を給ひ、暫時御休憩の後、君が代の吹奏にて式場に臨ませられ、近衞會長代理より開會をかね殿下御上任に就いての挨拶ありかくて總裁殿下は御起立遊ばされ親しく御諭旨を賜はりたり。(別項に掲ぐ)次で理事近衞公爵夫人會長に代りて奉答あり。(別項に掲ぐ)次に佐藤會計監督の會計報告(別項に掲ぐ以下同じ)奧村五百子刀自の演說、松原主事の各地よりの祝電報告了つて澁澤男爵の演說、清浦司法大臣の演說あり、了つて君が代の吹奏にて總裁殿下御退場遊ばされ、樓上の御座所にて再び御休憩、また君が代の吹奏と共に職員の御見送りにて、御機嫌うるはしく御馬車にめし給ひぬ。それにて式終り、庭園にて太々神樂の餘興あり。會員一同に茶菓鮨等を饗し、又當日招待せし來賓新聞記者等へは樓上に於て立食の饗應を爲し、職員一同より旣往の好意を謝し將來の盡力を依賴したり。當日の來會者は無慮千人に上りしが、天氣の快晴と婦人方の幹旋とにて甚しき混雜を來たさゞりしはいと喜ばしきことなりき。去りながら、曉來降雪のため、近縣よりの來會者豫想外に少なかりしは、遺憾とする所なり。最も殘念なりしは閑院宮殿下の御臨場あるべき御沙汰なりしを、俄に御差支の在らせられし事なり。又會長閣下が忌服中にて來會せられざりしも、殘り多く感ずる所なり。旣に前號にも報ぜし如く、當大會一切の費用は、會長以下職員の寄附を以て之を支辨せしが、特に當日の費用にとて金品を寄附せられたる會員達もありたりき。

◎愛國婦人會會員現在數表

三月廿日正午調

支部名	特別會員	通常會員	計	贊助員
北海道	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東京	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大坂	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
京都	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
神奈川	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
兵庫	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
長崎	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新潟	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
埼玉	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
群馬	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
千葉	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
茨城	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
栃木	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
奈良	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三重	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
愛知	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
靜岡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
山梨	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滋賀	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
岐阜	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
長野	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
宮城	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
福島	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
岩手	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
青森	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
山形	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
秋田	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
福井	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
石川	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
富山	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鳥取	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
島根	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
岡山	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
廣島	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
山口	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
和歌山	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
德島	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
香川	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
愛媛	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高知	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
福岡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大分	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
佐賀	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
熊本	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
宮崎	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鹿兒島	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
沖繩	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
臺灣	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
海外	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

備考　本表中總計貳万六千四百五十六人とあるは贊助員を除きたるものとす若又贊助員を合計すれば實に三万八百四十五名とす又本表は三月二十日調とす全二十一日二十二日に屆出たる支部幷に東京に於て入會者少からざるも之は他日の算に讓る

◎大會祝電一束

當日各支部幹事長評議員及び其他の諸氏が盛會を祝して發せられたる電報左の如し。

第二回の總會を祝す　廣島支部幹事長　江木仲子
本會第二回大會の盛典を祝す　福岡支部幹事長　河島らく子
盛會を祝す　高知支部幹事長　渡邊るゐ子
謹て大會を祝す　大坂評議員　鵜原誠子
謹て大會を祝す　大坂支部幹事長　高崎榮子
大會を祝す　大坂評議員　土居美名子
第二回大會の盛典を祝す　村上石川支部幹事長　鹿兒島支部
本日の總會を祝す　肥前國鹿島　子爵夫人鍋島鑑子
大會を祝す　廣島縣幹事　賀屋鎌子
大會を祝す　越後新發田評議員　岡崎榮子
大會を祝す　京都支部　橋川惠順　同たれ子
大會を祝す　熊本縣八代　宮城支部
大會を祝す　京都支部幹事　愛國婦人會員中　八田艶子
盛會を祝す　石川縣幹事　香川支部　沼崎愛子
第二回大會を祝す　兵庫支部
總裁殿下御上任を祝す　在大坂支部評議員及び幹事長並に幹事

◎奧村刀自演說

會員の方々樣、今日は賑々しく御出で下さりまして誠に有難う存じます、私は御禮を申上げます。さて本會は軍人遺族の救護を目的とするのでございます。又當時は昔の日本と違ひまして、御同然が生んだ子供を育て、兵隊になり何なりにして、國家の爲に誠忠を致させなければなりませぬから、御同然に白髮の生へた昔風の考へではいかぬやうになったのであります。それで私は本會の成立ちに付ては能く御話を申上げたいと存じますけれども、今日はまだ外に來賓方の御話もありますから何も申しませぬ。只私は東京十五區の所を漸く五區だけは此の御話も終へて居りまして、あとの十區は御話が終へて居りませぬ。どうか此の御話を能く申上げて、御襦袢の半襟を一掛づゝも御儉約下さることを段々お擴め下さるやうに希望いたして居ります。此の御話は二時間か三時間かゝらねば出來ませぬ。それで此の御集まりの中には諸方の御方樣が御出になつて居りませうから、學校なり何處なり廣い所に御集り下すつて、私を御呼び下さりましたならば十分に皆樣の御合點の參るやうに御話を申上げたいと思つて居りますから此上とも御骨折り下さりまして、各區へ御呼び下さるやうに私は希望いたします。是て御暇をいたします。

愛國婦人の滿一年になれるをことほぎて　理事公爵夫人　近衞貞子
うきふしもしらておひたつ竹のこの千代のさかえはうたかひもなし

同　評議員　濱尾作子
こそのけふ花さきいてしをしへくさ實もむすふまていやさかえけり

愛國婦人發刊の滿一年を祝して　熊本幹事長　德久張子
すへもなき人やすかれと國のためおもふをとめが友そかしこき

同　大阪會員　藤田きた子
去年の春大和しまねにうえそめしうらわかくさのおひしけりゆく

同　兵庫縣幹事長　服部鈴子
とし每にいく千よろつか增るらむこかねつくりのあやの御しるし

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎會計監督陸軍少將佐藤正氏の演說（大會席上）

唯今より三十五年度の會計の報告を致しますから御淸聽を願ひます。（別項記載の決算報告を朗讀す）

收支決算は唯今御報告申上げた通りてあります、委細の事は新聞て御承知を願ひます。唯大躰の事を申して置きますが、昨三十五年度の收入金は三万五千五百八十六圓餘て、其中使ひましたのが一万九百六十四圓て、其の主なる費用は七百九十三名の軍人遺族に對して、二千三百八十二圓を配付いたし、其他三百八十一圓を靑森の凍傷事件並びに福岡の二十四聯隊火藥破裂に付て弔慰金として出したのてあります。此等の金は即ち滿場會員諸君が出された金なのてあります。

又昨年來本會が爲したる事業は、即ち今の救護の事と、本會の擴張を圖つたことてあります。本會の擴張に付ては、昨年の大會の節は一万三千七百四十二人の會員てあッたが、今年は二万六千四百五十六名になッたのてあります、即ち會員數の増したことは一万二千七百十四名てありますが、一ケ年に此位の増加ては未だ少いのてあります。本年は、成るべくは十万人の會員を募り得むことを希望して居るのてあります。尚ほ二万六千四百餘人は正會員の數てありますが、此の外に贊助員が四千三百八十九名あります。昨年の大會の時には、本會の資金は僅かに七千六百七十五圓餘しかなかッたのてあります。然るに本年は、前申上げた通り七百何名に對して僅かてはあるが救護金を配付して、其の殘りが二万四千六百二十二圓餘と云ふ金になッたのてあります。是は矢張滿場の諸君方が御贊成になッて會費を御出しになッたのがさう云ふ高になッて居るのてあります。本會は爲し得る限り、始めの中は積金をして、其の積金の利子を以て、軍人遺族の救護を爲さむとするの計畫てありますが、まだ漸々二万四千六百二十二圓餘しか出來ないのてあります。併し昨年に比すれば一万圓の増額になッたのてあります。詳細の事はどうか新聞て御承知に相成らむことを希望いたします。固より本會は質素を旨とする會で、一錢一厘たりとも決して濫りな使ひ方はして居らぬのてあります。若し會計報告の中に何か御不審てもあるなれば、何時たりとも御尋ねを蒙りたいのてあります。決して不當なる費用は一錢たりとも出さないのてありますから、どうぞ諸君にも此段は御諒承相成らむことを希望いたします。

それから本會の機關新聞は愛國婦人と云ふ新聞てありますが、此の新聞は誰がやられるかと云ふと、即ち山澤俊夫君がやられてをるのでございます。それは決して本會から金を出して居らない。山澤俊夫君が自ら金を出し居られるのてあります。勿論一枚に付て幾らかの金はお取りになるのてありますが、それては迚も此の新聞が立ち行くべきものてはない、併し山澤俊夫君は本會に最も同情を表せられまして、どうか本會の爲に盡さうといふ、所謂獻身的に此の新聞を發行せられたのてあります、併し漸く此節に至りましては、段々御覽になる御方が殖えまして、收支相償はむとする位の勢ひになッたのてあります。尚ほ此の以上、收支相償ふ樣にならば、尚ほ幾分か計畫があるやうてあります、其段を御報告して置きます。

殊に此の愛國婦人が發行せられたのはどう云ふ意てあるか、元と愛國婦人會と云ふものはどう云ふものてあるかと云ふと、軍人の遺族を救護すると云ふことが此會の精神てある、それと同時に、御婦人方は家庭の主宰てあるから、國家主義と云ふものを家庭で涵養して、併せて質素と云ふことを以て此會を成立て、質素と云ふことを家庭に及ぼさうと云ふことが、愛國婦人會の精神てあるのてあります。併ながら此の精神を有つて居ッても之を發揚することが出來難いのてある。それが爲に愛國婦人新聞と云ふものを拵へて、此の精神を普及しやうと云ふのてあります。それて、この愛國婦人新聞には、即ち今の軍人の遺族を救護するとゝ併せて家庭に國家心を入れると同時に、質素を以て國家を保たなければならぬと云ふことを始終書いて居るのてありますから、どうか愛國婦人と云ふ新聞を御覽にならむことを希望いたします。是は決して吾輩が營利的て申すのてはない、即ち愛國婦人會の精神を敷衍せむが爲に御讀みにならむことを希望いたすのてあります。會計報告と併せて一言申述べた次第てあります。

●淸浦司法大臣及澁澤男爵の演說は紙面の都合により次號に掲く

明治三十五年度自一月至十二月會計決算報告（佐藤氏演說參照）

收入之部

一金參万五千五百八拾六圓貳拾壹錢貳厘　總收入高

內譯

金貳万七千七百參拾貳圓六拾錢四厘　會費

內 金貳千參百六拾八圓八拾七錢（別表東京支部主任幹事ヨリ納金） 金貳万千五百八拾九圓五拾壹錢貳厘（別表各支部幹事長ヨリ納金） 金二千八百五拾壹圓貳拾貳錢貳厘（東京支部會員ヨリ本部ヘ直納金） 金九百貳拾參圓（地方會員ヨリ本部ヘ直納金）

金貳千四百七圓六拾四錢五厘　基本寄附金

內 金千五百七拾九圓八拾參錢五厘（別表東京府下ヨリ本部ヘ直納金） 金六百貳拾五圓四拾壹錢（別表各地方ヨリ本部ヘ直納金） 金貳百貳圓四拾錢（別表各支部幹事長ヲ經テ納金）

金四百拾圓　指定寄附金

內 金壹百圓（事務所建築費トシテ子爵松前修廣殿ヨリ寄付） 金拾圓。（同上伊澤千年殿ヨリ寄付） 金貳百圓（本會機關新聞發刊費トシテ厚東三郎殿ヨリ寄付） 金壹百圓（同機關新聞臨時發刊費トシテ佐藤靜子殿中山寿子殿ヨリ各五十圓ツヽ寄付）

金參百六拾圓拾七錢　雜收入

內 金參百五拾七圓九錢（銀行預金利子及公債證書利子） 金貳圓八拾六錢（徽章再渡原價） 金貳拾貳錢（紙屑賣拂代）

金四千六百七拾五圓七拾九錢參厘　前年度繰越金

內 金千百七拾九圓七拾九錢參厘（會費及雜收入經常臨時費ヲ引去リタル殘高）

金參千四百九拾六圓　（別表基本寄附金）

備考 三十五年度ニ於テ香川支部ハ報告ナキヲ以テ此決算ニ載スルコト能ハズ、又長崎滋賀ノ二支部ハ下半期ノ報告ナキモ、上半期ダケノ送金ハ計算ニ加ヘタリ。高知、佐賀ノ二支部ハ報告ノミニシテ、未ダ現金ヲ受領セズ。大阪、新潟、福岡三支部ハ報告書ノ殘金未送付ナルモ共ニ現收ニ算ス。

支出之部

一金壹万九百六拾四圓拾壹錢九厘　總支出高

內譯

金千四百四拾五圓四拾七錢貳厘　三十五年經常費

內 金參百七圓五拾錢（借家料） 金五百參拾五圓參拾貳錢六厘（俸給、雜給） 金百四拾七圓八錢七厘（筆紙墨費） 金百五拾五圓五拾九錢五厘（郵便電信料） 金五拾六圓參拾五錢五厘（器具費） 金百五拾九圓八拾八錢（車代） 金八拾參圓七拾貳錢九厘（雜費消耗品類）

金九千五百拾八圓六拾四錢七厘　三十五年臨時費

內 金貳千參百八拾貳圓貳拾壹錢　救護金

救護金ハ本會々則ニヨリ三十五年度ニ於テ東京、神奈川、兵庫、山形、廣島、德島、靑森、岩手、宮城、島根、秋田、岡山、奈良、熊本、新潟ノ各縣下ノ軍人遺族ノ窮困者ヘ贈與シタルモノナリ。

金參百八拾壹圓　弔慰金

弔慰金ハ第八師團歩兵第五聯隊遭難、第十二師團歩兵第二十四聯隊遭難者ヘ贈與シタルモノナリ。

金參百參拾七圓五拾錢　報酬金

報酬金ハ事務員以下及ヒ本會主唱者奥村五百子ヘ贈與シタルモノナリ。

金六百六拾七圓四拾參錢　印刷費

本項ハ本會趣旨書及ヒ申込書ヲ印刷シタルモノナリ

金四千貳百九拾貳圓六拾錢　徽章製作費

金貳百六拾壹圓八拾九錢　運搬費

本項ハ徽章、趣旨書等ヲ各支部ヘ送付シタル費用ナリ。

金七百五拾八圓六拾壹錢七厘　擴張費

本項ハ奥村五百子北海道、大阪、兵庫、愛知、岐阜、滋賀、三重、京都、神奈川、新潟、長野、香川等ノ各支部ヲ巡回シタル旅費及ヒ評議員會等術モ本會擴張ニ關スル費用ナリ。

金百參拾七圓四拾錢　臨時費

本項ハ金庫、書棚等ノ購求費ナリ。

金參百圓　機關新聞ヘ贈與

本項ハ指定寄付ニヨリ本會機關新聞愛國婦人ヘ交附セシモノナリ。

明治三十五年自一月至十二月收支決算差引金報告

一金參万五千五百八拾六圓貳拾壹錢貳厘　總收入金

但シ決算報告書中收入ノ部掲載之通

一金壹万九百六拾四圓拾壹錢九厘　總支出金

但シ決算報告書中支出ノ部掲載之通

差引殘金　二万四千六百貳拾貳圓九錢參厘

備考 本項金額中基本寄付金ハ三十四年三十五年分ヲ合シテ、金五千九百參圓六拾四錢五厘トス。此基本金ハ永久保存スルモノニシテ、會長、理事、幹事長、評議員、相談役ノ殘ラズ協贊ニアラザレバ使用スルヲ得ズ

右之通決算報告候也

明治卅六年三月廿二日

會計監督 男爵 澁澤榮一

陸軍少將 佐藤正

（本文中ノ別表トアルハ次號ニ掲載ス）

◎祝辭　評議員 有島幸子

こその此月大日本女學會にて生れ給ひしをみなの子あり名を愛國婦人となん呼び給へるが今年一めぐりの祝を擧げ給ふによりおのれも喜びの餘りほぎごと申さんとす抑も此愛國婦人は生れだち健かに賢くませば世の中にもてはやされ給ひ又敎へ育て給ふ人々の心盡しの甲斐もありて月毎日毎に生ひたちもすぐれ行き今年は更らに遠近に其名聞えて見ぬ人までも慕ふ樣となりぬるこそ目出度けれなほ此君のます〳〵榮えに榮えて世にめでられ給はん事を祈るになん

生ひ出てし去年を始めに呉竹の
ふし長き世に榮え行くらん

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

寄書

◎日本軍隊の勇氣の母

（澳國某將校曰く、日本軍隊の勇氣は其の家庭に於ける婦人の心掛けが一大原因なり。と）

相談役　陸軍步兵少佐　堀内文治郎

日本軍隊の勇氣の盛なることと、其義俠心に富めることと、日本軍隊の向ふ處敵なき有樣とは、北清事件で十分に證明せられ、世界中到る處で大變に評判がよいとは、皆さんも御承知の通りでありまます。此頃私の友人が澳太利亞から歸ッて來ましたが、其友人の最も愉快に感じた事は、在澳中に某聯隊の集會所で、北清から歸ッた澳國の參謀大將が講話をした時、盛に日本軍隊の勇氣、忠義心に富むことを譽め立てたとださうです。また澳國皇帝の前でも、頻に日本軍隊の忠勇は世界無比なりと稱揚した將校があッたさうです。右の日本軍人の忠勇無比なるとの一例として澳國將校が擧げたのが、左に掲ぐる天津城攻擊の時の工兵の決死の働きです。澳國將校中には、どうして日本人があんな大膽な仕事が出來るかと、不思議に思うた人があッて、話をした參謀大將に質問したさうです。其時參謀大將が答へて曰く、『日本では出陣する時に、家内中皆其門出を祝ッて、婦人でも涙一滴こぼさぬのみならず、水杯まてして勇氣を附けて送り出す。婦人でさへ此通りであるから、兵士が戰地に來ても覺悟が違ふのです。』と云うたさうです。實に其通りで、我々日本軍人が戰地で見はす忠勇は、家庭に於ける皆さんの御心掛けから生ずるのです。日本軍隊の勇氣の母は皆さんてす。（工兵の働を書き見はすには、當時の北清事件の一般の景況を少し附け加へる方かよく分りますから、さうしました。また綿火藥のことを一寸申上げますが、此火藥は電氣で發火させる程の危險なものて、火をつけると直ぐ爆烈するのです。故にマッチで火を點けると云ふ事は、即ち綿火藥と一緒に自分の身を粉碎するといふことてす。これが西洋人の不思議と云ふ程大膽な勇氣・忠義心から出る精神の發動なのです。）

*　*　*　*　*

工兵中隊天津城南門破壞の景況

北清地方に於て義和團蜂起するや、天津居留地も亦清國官兵及團匪の包圍する所となり、連日砲擊を被り、損害日に增大す。然れども當時天津に在る列國軍の兵力は、未だ天津城及其附近に在る敵兵を驅逐するに足らず、空しく時日を經過して、益々彼等の勢を增長せしめたり。七月十一日北京より到着したる西公使の密使は、北京の危急旦夕に迫るを告ぐるに至り、福島少將は十二日英・米・佛の指揮官を其司令部に會して天津城の攻略を議せり。恰も好し我步兵第十一聯隊第一第三大隊は此日天津に到着し、遂に從來列國軍指揮官の間に抱持せられたる天津城攻擊の議決を見るに至れり。此攻擊の大方針は、露・獨兩軍は白河左岸に於て東北方より天津城に向ひ、以て白河右岸に於て南方よりする日・英・米・佛軍と協同作戰するに在り。

翌十三日黎明福島少將の率ゐる日本軍（步兵十一中隊騎兵及工兵各一中隊山砲十二門）は英砲八門、米砲四門及び佛砲六門の列國軍と共に三縱隊となり、午前五時我前衛は同處を占領し、海光門に向ッて前進し、我本隊及び佛・英・米兵は海光門外に開進せり。既にして午前七時敵の大縱隊天津城より西南方に向ひ退却を始めたり、福島少將は此機に乘じ步兵第十一聯隊を第一線となし、天津城南門に向ッて前進せしめたり、佛軍も亦我に同意し相共に勇敢に前進せり。

（我工兵第一中隊は南門に向ひ、本道上を突進せる步兵第十一聯隊第二大隊に跟隨して、南方約四百米突に達す。工兵中隊長三橋嘉之太は速に城門を破壞して突擊隊の進路を開くべき命令を受けしも、敵は城門に接したる家屋に據り頑强の抵抗を爲し、其射擊極めて猛烈にして、到底城門に到着すること能はす。我第一線諸隊は城門南三四百米突の距離に達せしも、敵の射擊猛烈にして前進すること能はざるのみならず、城門の景況を偵察せしめんがため出したる斥候は悉く敵火の爲に其目的を達せず。各隊は僅に占領せし村落堤防に兵を伏せ、唯工兵中隊の成功を待つのみなとれり。此時佛軍の我に跟隨せし者は城門南村落の南端に達し、英軍は遠く海光門及ひ其西方堤防に據れり。

今や攻擊軍の運命は一に工兵中隊の上に懸り、其成功すると否とに依て決す、然れとも狀況此の如きを以て晝間に在ては到底城門に接近すること能はざるなり。

十四日午前工兵中隊は將に此名譽ある大任を實行するの機に際せり、我第一線諸隊及び佛軍は突擊の準備既に成り、英兵も亦後方に在て此機の至るを待てり。午前三時工兵少尉井上謙吉は工兵軍曹今井修一以下六名を率ゐ、綿火藥四十吉羅と、電機器及び導電線を携行し、步兵第十一聯隊第二大隊の第一線に到着し、同隊より豫め偵察のため出したる第八中隊步兵軍曹藤井房一（此軍曹は十三日午後晝間に於て、敵彈を冒し危險を顧みず、詳細に城門の偵察を敢行したるものなり。）を嚮導とし、決死南門に向ふ。當時堅固なる城門は固く閉鎖せられ、城壁上を占領せる敵は城門外の家屋を占領せる敵と協力して射擊を集注せり。然れとも勇敢なる破壞隊は辛うじて城門に達し、綿火藥を門扉に裝著し、將に之れに點火せんとするや、不幸なる哉導電線敵彈の爲に切斷せられ、電機器を使用すること能はず、兵卒一名亦足部を負傷す、實に攻擊軍の運命は危機一髮の間に在り、今や死を顧みるの遑あらず井上工兵少尉は今井工兵軍曹兵卒宮地重太郎、水越千助及井澤田勝一郎を率ゐ、躊躇せず決死門下に迫り、直接に燧火を以て裝藥に點火するや、其未だ十數步を隔てざるの瞬間、轟然爆發門扉を飛散せり。然れとも井上少尉已下皆全きを得たり。實に敵彈雨飛の中に於て綿火藥を運搬する既に危險なり、然るに今又直接に之れに點火して爆發せしめ、然も其身命を全うするを得たるは殆んと常識を以て測り知ること能はざるなり。實に其爆發と同時に自己も亦粉碎せらるゝの覺悟無かる可からず、否粉碎せらるゝを當然とす其之れを決行したるの勇氣に至ては、其將卒の義務を守りて死生を顧みず、一身を犧牲にして君國の爲に盡す、所謂軍人精神の本領を發揚したるを證して餘りありと謂ふ可し。加之當時工兵中隊の任務の關係する處、獨り我軍に止まらず、佛・英・米軍に及ぼし、尚且つ間接に列國人士の運命に關す、然らば則ち此卓越なる作業は、以て軍人精神の本領を世界に發揚したるものと謂ふ可きなり。

轟然門扉の爆發破壞するや、我軍步兵は直に吶喊城門内に突進せり、然るに第二の城門未だ固く鎖して開かず、爲に我兵は門内に麕集し、敵は射擊又は投石を以て頻に我兵を苦めたり。我兵第十一聯隊第八中隊長小島鉛三郎は其部下を率ゐ、破壞せる壁面を攀ぢて壁上に登り、兵卒增田千太郎は内部より第二城門を開きたり。是に於て我兵は大河の決するか如く、第二の吶喊を以て城内に闖入し、直に城門の東西兩壁上を占領し、殘兵を驅逐し、壁上高く旭旗を飜し、劉喨たる喇叭手の君が代吹奏の下に、陛下の萬歲を三唱せり。

愛國婦人の一週年を祝ひて
評議員　子爵夫人　本多延枝子

にほひいてゝ花も實もあるこのふみの
さかりは千代の春やかさねん

愛國婦人の一週年を祝ふ
評議員　三輪田眞佐子

とり／＼に咲きにほひつゝ大君の
滋にしめし女郎花かな

同　佐藤猶子

もろともに國につくせるこのつとひ
さかえ行くこそめてたかりけれ
あさひこととともにさかゆるこのつとひ
あかきこゝろのしるしなるらん

同　中山幸子

かしこくもみそなはすらむこのふみの
さかえめてたくおほしめしつゝ
ひとゝせにことはのはなのかすまして
さかえゆくこそめてたかりけれ
よむ人の月にかさみて見ゆるかな
いとたのしくもおもひつゝけて
ことさらにみくにの爲の此ふみを
よむこそよけれ心ひとつに
ひとゝせのふみのはやしに咲きいてゝ
ことはの花のしけりこそすれ

奧村五百子刀自のこの程又わか京都に遊說にものし給ふ由をきゝて
京都府會員　難波良久子

西東たひねひまなくつくす君
みくにの爲にいとひませ身を
國をおもふあかき心のつとひてし
このまとひこそいや榮ゆらめ

愛國婦人をよみて

しけりゆく文のそのふの言のはを
ひらきてよむそたのかしりける

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

雜報

◉東北饑饉御救恤　東北地方饑饉の情況天聽に達し此の程二万二千圓の御救恤御沙汰あらせらる。

◉行幸啓御日取　天皇陛下は四月八日御發輦途中御二泊の上十日神戸の觀艦式へ臨幸、皇后陛下は十二日頃御發輿京都へ行啓、夫より十五六兩日の內を以て擧行の博覽會開場式へ、兩陛下臨御、十七八兩日中に還幸啓仰出さるべく、名古屋靜岡御二泊の上、東京還御までは二週間以內なりと承はる。

◉皇太子殿下は　久く沼津御用邸に御滯在中なる皇太子殿下には近日の內一先づ御歸京あらせらるゝよし。

◉閑院宮殿下　新に日本赤十字社總裁に御就任遊ばされたる同殿下は去にし十七日同社に御臨場の上有難き御諭旨を賜はりたり。

◎婦人論梗概

◎金森通倫氏の兒童の貯金　現時の小學教育に於ける兒童の貯金は其主旨を誤れり、敎師は徒に學校貯金の多額に誇り、父兄生徒も自ら自家貯金の多寡に喜憂す、苟も兒童の貯金が勤儉の美德を養ふに資するにあらば、何ぞ其額の多寡を問はん。もし貯金の眞義此に在らざらん乎、精神的の破壞之より大なるはなく精神を破壞して金錢あらんも、國家の滅亡運を回らさゞらんとす。抑も兒童の貯金は特に勤儉の結果たらざるべからず、即ち勤勞の報酬もしあらば之を貯ふる眞價あり、而して勤儉の德は實現せらる。文具の料を節して餘す所もしあらば之を貯ふる眞價あり、而して節約の德實現せらる。贈與せられたる金錢あり、是等は全く兒童の所有に屬するもの也。此三者を除きて苟も貯金あらば、そは兒童が父兄の貯金を傳達するに止まらん也。而して勤儉の實迹に見るべからざる也。兒童の眞の貯金は勤儉の表彰たらざるべからず、故に其度數は問ふべし、多寡は問ふ所にあらざる也、切に世の父兄たり保護者たるもの丶猛省を望む。云々

◎村上文學士の正しき家庭の必要　敎育の目的は道德的品性陶冶に在り、然れども是は學校のみにては十分なる效果を奏するを難し、必ず正しき家庭に於て、子女の道德性の基礎を造らざるべからざる也。泰西の學者言へるあり、曰く「全く自己を忘れて、眞に他を愛する情は親が子を思ふ心なり、かゝる純粹なる愛情は殆ど他に見ると能はず。子が此の如くして親より愛せらるゝため、後日成長して人と交るに及びて、人を愛する心生ずる也。又、己を保護する人に眞に尊敬の念を懷くは、子が親に對する心にして、即ち他人を尊敬する心の基なり。又、同等者相互の關係は、兄弟姉妹より密なるはなし、朋友互に愛する心は即ち之より生ずるもの也」と、以て家庭生活の貴きを知るべし。而して子女敎養の上について、父母何れか感化力強きかと云ふに、母は終日子女の身邊を離るゝとなきを以て、其力は遙に父に勝るものなれば、一言一行もよく之を愼まざるべからざる也。近來の統計に依るに、男子はその體質、性格何れも父よりは母に似るもの多しと云ふ。男子は次の代のその家の主人にして、又國家の中心をなすもの也、故に果して此統計の示す所の如くならんか、女子たる人が、常に身體の健康と精神の修養とを忽にすべからざるは明白なる事ならずや。身體の健康を圖るは勿論運動に在り、從來我國人は男女を問はず成長して運動などなすは子供らしと思ふ傾あれども、誠に誤れるもの也。母たる人が其子女と遊戲運動するは、啻に自己の身體に益するのみならず、兼て子女養育の利益と家庭の和樂とを生ずるもの也。精神上については、彼の所謂人情小說などを愛讀するもの多きは誠に歎ずべき也。歐洲などにては、女子が學校生活中は、主として自己の爲の勉强を爲せども、卒業後は更に親としての心得などを研究し、又家政整理上實地の知識を得べき書籍を繙讀するを常とす。苟も正しき家庭を作らんとの心あるもの、豈注意せざるべけんや。又家庭と祖先とは離るべからざるものにして、名ある祖先を有する子孫はその品性の正しきとは統計上明かなるとなり。故にさまで名ある人にあらずとも、子孫をして十分に先代の人を尊ぶ心を養成せしむるは肝要のとにして、かの放恣なる醜聞を聞く人あるは、畢竟先祖を尊重せざる結果に外ならず。此心を養成するは墳墓を大切にするに在り、然るに世上往々之を荒廢に委して顧みざるものあり、思はざるの甚しきものと謂ふべし、是等も亦婦人が一層注意すべき事なり。云々　（女鑑）

◉女子高等師範學校　同校第十四回卒業式は、來る三十日午前九時三十分同校內に於て擧行し、同時に同校付屬高等女學校の卒業式をも併せて行ふよしなるが、本年卒業生は本校の方百五名にして付屬女學校の方四十五名なりと云ふ。尙同校に於て募集中なる國語體操科は志願者八十餘名にして、四月六日より試驗を行ひ、四月下旬より授業を始むる趣きなり。

◉東京音樂學校　同校にては本月卅日甲種師範科卒業生八名の爲めに、卒業證書授與式を行ひ終つて演奏會を催すよしなり。尙同校募集中の甲種師範科は、志願人員百四十名餘に對し、來月八日より試驗を始むるとぞ。

◉日本女子大學校　同校は來る廿八日午後一時より付屬高等女學校第二回卒業證書授與式を擧げ朝野の名士を聘し演說を乞ふ筈なりと云ふ。

◉女子美術學校　同校は來る廿八日午前九時より、本科及撰科併せて四十一名の卒業生の爲め、卒業證書授與式を行ひ、引續き校友生徒の作品展覽會を廿九日卅日の兩日間同校內に於て催し、廣く公衆の展覽を許すよし。

◉女子高等專攻科　女子高等師範學校付屬高等女學校高等專攻科各部にては今度第一學年生徒を募集するよしなるが。甲種は修業年限五ヶ年の高等女學校卒業生乙種は同四ヶ年の卒業生丙種は甲乙に屬せざるもの丶爲めに設く同校規則第二十五條によれば從來修業年限五ヶ年の高等女學校卒業生に限りしを今回右の如く改めたるものなりと出願期は四月二日迄なり。

◉東京女學館　虎の門內なる東京女學館に於ては今回三年級以下に缺員ある爲め生徒を募集するよし。

◉三輪田女學校　三輪田眞佐子女史設立にかゝる同校は目下生徒募集中なるが敎室も增築見込のよし。

◉體操學校の女子部　日本體育會にては女子部生徒五十名募集するよし出願期限四月十日限。

◉大日本婦人敎育會　同會は去にし廿一日午後一時より華族女學校幼稚園に於て常集會を開き、巖谷季雄氏の慈悲深き少女下田歌子女史の形態の淸潔と精神の高潔とについて等の講演ありたり。

◉東京兒孤院慈善會　同院の新築費に充つる爲め來る廿八九の兩日間神田の錦輝館に於て書畫展覽會を催し慈善家の購入を求め其費用を擧げて新築費に供する趣にて知名の書畫家も多くの作品を寄贈し當日は席上揮毫をもなし其他婦人の手工品をも陳列し餘興には音樂の演奏もありと云ふ催主は北川はつ子賛成員は多くの貴婦人なれば定めて當日は盛會なるべし入場券は一圓、七十五錢、五十錢の三種なり。

◉米國婦人の學校寄附　米國西部大學の巨擘たるスタンフォード大學の校主ゼーン エル スタンフォード夫人は昨夏我國來遊の節慶應義塾を參觀し其獨力經營の事に大いに同情を表し此程金千圓を圖書購入費として同校に送り越したるよし。

◉東北饑饉の義捐　目下東北地方の饑饉甚だしく各新聞社に於て目下義捐金募集中なるが岩崎三井の兩家より各一万圓時事新報社を介して寄贈し各官省商店に於ても應分の義捐をなしつゝあり。

◉淸國少女の演說　淸國の志士康有爲の娘康同璧と云ふは二八斗りの小女なるが此程我國に渡來し明治女學校の助けを得て神田の靑年會館に於て淸國の現狀を我國士人に訴へ悲壯慷慨なる政治的演說を試みたり其一節に曰く淸國分割は万國の爲めに不利にして淸國の病源は未だ全國に蔓延したるに非ず只其局部なり其局部を治せんとするには先づ第一に西太后を除かざる可からず之を除くには或は非常手段をも要すと論結し自分は女子なれども國民たるの義務あり特に家父は嘗て國政にも與つて躬親しく其弊所を聽く事他に比して多ければ之より奮勵して改革の事に任ずべしと陳べたり。

◉西本願寺法主の歸山　多年海外に旅行して宗敎上の觀察を遂げ此程歸山せし法主の宗敎革新談なるものを聞くに各國の宗敎界の大勢に徵して日本佛敎が格別に宗敎眞理の改善を努むるの必要を感ぜざるも只如何に宗敎を利用せば社會を改善し社會に貢獻するを得べきかが最も緊急なる問題にして着々其の革新の方法を計るべしと云ふ又法主は歐洲を出發するに際して數萬部の書籍を購入し印度、支那等に於て手に入れし珍奇の圖書又少からず本山の事業として取敢へず一の圖書館を設置する筈なりとぞ。

◉伊豆の極樂郷　靜岡縣伊豆國稲取村は戶數八百二十七、人口四千九百三十九人にして、住民は漁業七分農商合せて三分を占め、從來は難澁の村にて、小學校の維持すらむづかしき程なりしが、村長の計畫のよきと住民の勤儉貯蓄とによりて學校病院の設備は勿論、道路水道等の完備せる全國に比類なき極樂郷となりし趣きなるが、今其計畫の一二を記さんに、第一に富源を作る手段として殖林事業を勸め二十五年後には二十五万圓の基本財產を作る豫定にて又學校殖林にては即算するも三四万圓の市價を得るといふ。又漁業には村內の男子之に當るを以て、其留守中婦女子を督勵して石花菜を採取し、之を乾燥して和歌山大阪地方に賣出し、其純益金は一年一万圓に達し、其益金を公用費に充て、又母の會なるものを設け村社の祭禮當日に集合し家事敎育經濟等の講話を爲す由。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

登錄商標
五二會品評會功勞銅牌

THE BEST MADE
SUMIRE
VIOLET PASTE
ヴワイオレット煉製
附屬孔白子器入
壽美禮おしろい

●壽美禮おしろい●

ねり製　定價　大壜二十錢　小壜十二錢

ヴワイオレット水製　定價　大壜二十五錢　中壜十五錢　小壜十錢

すみれ白粉は歐米諸國に專ら流行する香料及弊店特製の化學的炭水素の新成蹟體等を以て配劑しあるを以て皮膚を艶麗ならしめ芳香馥郁として長時間保續するの特性あり『壽美禮白粉』は常に用て御顔肌等の色を白變せしめきめをこまやかに、にきび、そばかすあせぼ等を生せず御肌へを淸々しく天然の色白きに至るべし『菫おしろい』は芳香馥郁と長く保つが故宴會祝席雜踏の場所に望て諸々の惡臭を退け不淨を拂ひ心氣を淸爽快活ならしめ衛生上有益無比の逸品なり『壽美禮白粉』は高等優美にして意匠も美妙なれば御進物に最も適當す方今東京橫濱に於て上流社會に盛々好評を博しつゝ流行せり

●皮艶白劑壽美禮あらい粉

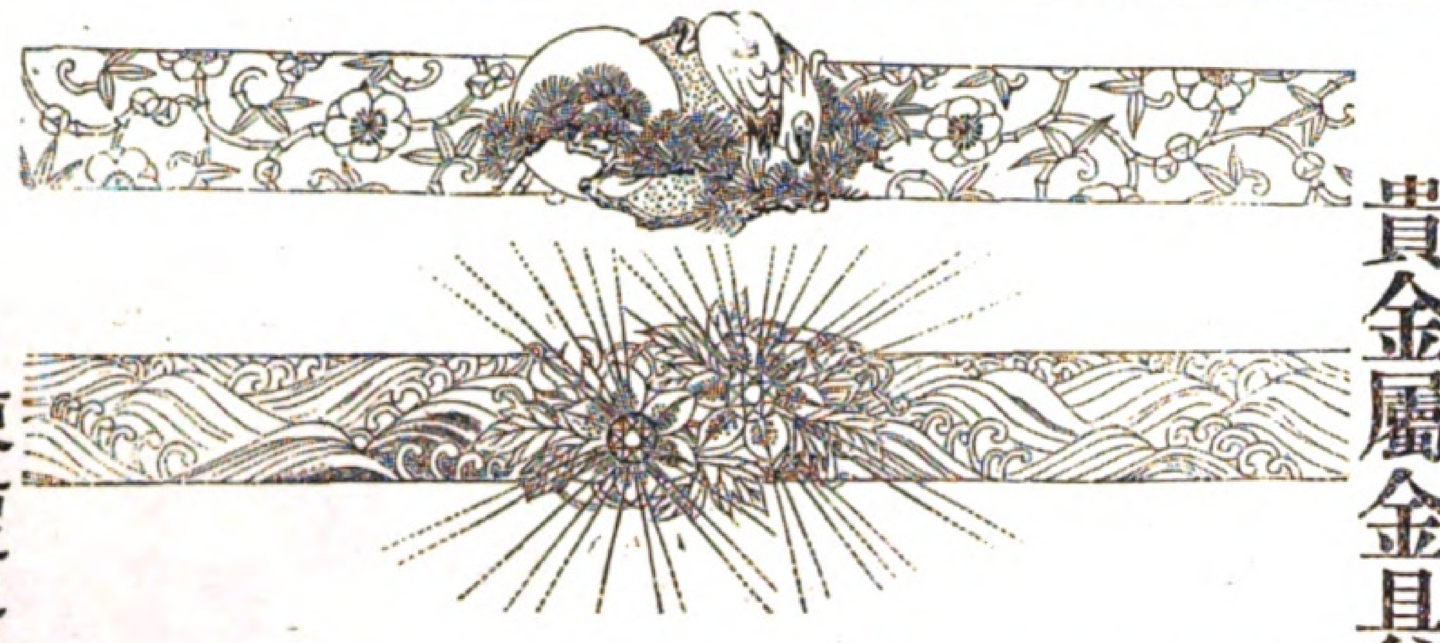
●綠、藍、紅彩蝶香ひボックス入三錢　鑵詰六錢五厘　袋入壹錢

●弊舖製造の壽美禮洗粉の義は方今歐米諸國に專ら賞賛する香料及弊店特製の原料を用ひて製せし物なれは朝夕此洗粉を御用ひ給へば漸々皮膚の色を白くし美くしく艶を出しきめをこまかに常に御肌を淸々しくなし總而皮膚の患ひにかゝる事なし
●髮洗ひに用ひ給へは毛の拔る病を防し毛のくせを直し美くしく艶を出し髮のれはりを取り油あかふけ等を生せず又絹綿布等に用ひて能く汚垢を落す總て物を漂白する性あり
●使用法は普通あらひ粉の半分にて能し水又は温湯に溶し又はぬかに混せ入浴の際用ふるを可とす

登錄商標
西洋色白くなるあらひ劑
SUMIE.R
WASHINGROWDER.
壽美禮あらひ粉

伊勢吉壽禮堂謹製

製造本舖　東京東兩國橫網町一丁目



貴金屬金具附帶留

霞の帶も花を飾る春着の裝ひ扱は青葉若葉の夏ごろも無て叶はぬ帶留に仲秋の月より光りめでたき金銀赤銅朧銀の彫刻は美術大家の意匠を凝し寶石類を嵌入し紐は西陣の縫取り金襴錦繡珍さまゞ候へば富士の雪の山々御用命奉願候

○金製金具附價　十二圓十五圓廿圓六十圓迄
○銀赤銅朧銀等之金具附價　三圓五圓以上八圓十圓位迄

東京市京橋區尾張町
白牡丹本店
松田幸治郎

婦人ふるちの藥

定價一貼五錢三貼十四錢五貼廿三錢七貼三十二錢
一此藥劑は婦人血の道一切の藥にして淸血を補ひ古血をめぐらすとかんようにして少しも脾胃にさわるとなく血を下すにてはなく血をみちびき通ずる藥なり第一月々めぐり少き婦人はたッぷりと見るなり數年古血滯りある婦人は其のふるちのかたまり殘らずつうずるなり●南まけづつう目まひによし○ふるちとゞこほり○ながち○しらち○手あしいびれ○血しやく○ひゑるときさしこみいたむに功あり○むねこしいたみ○つぎむしによし○さんごわとはらのいたみはいかほどつよきいたみにても一ト包にて功あり○さんごわるちのとどこほりに用ひて功あり○猶能書にくわしくしるす

本家製藥所　歯磨店　伊勢吉本店
東京市本所區東兩國橫網町一丁目
(電話浪花二七五八)

登錄商標
佛國大博覽會賞牌受領
博覽會　東京　東兩國橫網町
賜賞牌
今古改正　# 寶香　歯磨
伊勢屋吉次郎謹製

●東京文榮閣新刊圖書廣告●

女子消息文のしほり

宮中御歌所寄人　華族女學校講師　中邨秋香先生新作
小野鵞堂先生淨書
二月五日發賣
木版半紙摺　無二の美本　定價四十錢　郵稅四錢

本書は中邨秋香先生の新作にして書簡文獨習者の爲めに通俗平易なる實用の文題百餘種を總振がな付にせられたるは他に其比を見ざる處特に小野鵞堂先生が大字に書かれたれば習字の手本として此上もなき良書なり學生諸君は勿論家庭の御婦人方は是非一本を座右に供へられん事を

女子草の錦

宮中御歌寄人中邨秋香先生新作
和裝頗美本紙數三百頁餘　定價卅五錢　郵稅六錢

此書は中邨秋香先生が讀書の餘暇古學復興以來諸名家の文中金玉の響あるものを抄錄せられしが積て數十卷と成りしを中に就て男女學生の摸範となるべき美文、記事、紀行、論說、消息、物語體等無慮數百篇を撰出せられ之に加ふるに當代諸名家の文を以てせられ特に上欄には要語數千を載せ作習の摸範と應用とに供せられしもの國文學研究の諸君に欠くべからざる必用の良書なり

新編書簡文例

中邨秋香著　小野鵞堂書
男子用　木版半紙摺優美本各一冊　定價六拾錢　郵稅六錢

新編女子書簡文例

本書は現代の文豪中邨先生の脳漿より迸出せしもの一言一句津々たる趣味あり擬古に陷らず流俗に同せず繁簡宜しきを得眞に今日書簡文の好摸範たり書は筆硯界の巨擘鵞堂先生の手腕になりし者習字の龜鑑として上乘の書なり

●發兌元　東京市日本橋區箔屋町　前川文榮閣●

目　流行半ゑり帶揚類

別織柄類　下締め○帛紗○帶止○前掛○手
すゝめゑり治　まげ形元祖卸小賣

定價　大瓶三十錢　小瓶二十錢

岡村皮膚病院長醫學博士岡村龍彥先生
加藤皮膚病院長獨國醫學博士加藤時次郎先生
婦人科專門ドクトル渡邊準哉先生
三大醫先生實驗有効證明
顔肌美白洗粉　チエリー　高等化粧用洗粉　ヴアイオレット麝香入
新橋竹川町十二　發賣元　本舖　ゑり治
電話新橋二〇二七
●全國有名小間物店藥種店ニアリ

生徒募集

來る四月一日より新學期を開始す各科缺員あり志願の者は來る三月二十日迄に申込むべし
科目—西洋畫科、日本畫科、彫塑科、刺繡科、裁縫科、編物科、造花科、蒔繪科
明治三十六年三月
東京鄉區弓町二丁目一番地
女子美術學校

普通臨床看病法

關藤治郎編
正價金卅錢　郵稅四錢

(書中目次)(精圖數十入)看護婦の責務◉病室◉冷罨法◉病蓐◉吸入法◉(巴布)作り方及應用◉外用藥用法◉芥子泥◉飲食物の與へ法◉食物調理◉服藥の與へ法◉老人小兒藥量藥品秤量及びめゑとる尺比較◉皮下注射法◉體溫計測法◉脈搏を計る法◉呼吸を計る法◉灌腸施行法◉座藥使用法◉尿に就て必要なる事柄◉膣洗滌法◉發泡膏應用法◉脚湯法◉人工浴一覽表◉腰湯法(坐浴)◉吸角法◉水蛭使用法◉出血及其血止法◉火傷及其手當法◉凍傷及其手當法◉中毒及其手當法◉繃帶及使用法◉按摩法◉外科看護法◉婦人科看護法◉產科看護法◉乳母の選擇及乳見の攝生◉病態の觀察方法◉傳染病及取扱方法◉傳染病消毒法◉傳染病看護婦の注意◉熱性諸病看護法◉肺結核、痲疹、回歸窒扶斯間歇熱、肺炎、肋膜炎、腹膜炎、盲腸炎、腦膜炎、癲癇、貧血、武雷篤氏病、(腎臟炎)耳下腺炎、破傷風(てたぬす)强直症、鵞口瘡、百日咳、喘息、咯血、精神病。看護法◉電氣使用法◉夜中看護法◉死體取扱方法◉食用品分析表及び消化時間◉水の試驗法◉牛乳試驗法牛乳及び人乳分析◉溫度表

普通衛生療病新書

醫學士馬島珪之助先生閱　關藤治郎先生著
附り處方調劑

發兌元　正價六十錢　郵稅四錢　東京神田鍛冶町(電本局九四九)　誠之堂
賣捌各地書店に有

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎特約販賣店

◎東京堂　神田區表神保町三番地

◎東海堂　京橋區銀座四丁目

東京日本橋區長谷川町
卸部　美濃儀本店
㋯
誂袴專門

男女用袴の親玉

電話浪花二千八百五十九番
電信略号ミイソ

小賣部　東京本郷區本郷五丁目十三番地
美濃儀支店
電話本局千四百十五番

幻燈器械 並に映畫（衛生教育農業等ノ映畫七千餘種）

アセチリン瓦斯幻燈廿二圓ヨリ四十二圓迄○五本燈幻燈卅圓○四本燈幻燈廿圓ヨリ廿七圓迄○三本燈幻燈十圓○丸蕊ランプ入金五圓

活動寫眞器械

○佛國式活動寫眞器械四十五圓○エヂソン式大形同金百五十五圓○幻燈取付用活動寫眞器十七圓○舶來同及日本製フイルム長サ六尺ヨリ一千尺迄各種○御注文ニヨリ出張撮影仕候○○右各種ノ定價ハ御報知次第進呈

自働寫眞器械　一名一分寫眞園遊會に適用

小松宮殿下御葬儀及西本願寺御葬儀等嶄新の活動寫眞及幻燈映畫出來仕候
御注文により活動寫眞出張撮影仕候●右定價表は御申込次第進呈仕候

東京新橋南金六町
吉澤商店幻燈部
（電話新橋三七八番）

毎月一回三日發行
家庭の友
見本郵券代用六錢

本誌は一冊五錢郵税五厘一ヶ年拾貳冊前金郵税共に金六拾錢の廉價を以て發賣する絶好家庭雜誌也

四月三日創刊

第壹號目次

○英國の交際法……安井哲子
○如何にして家族的交際を盛んならしむべき乎
其一……巖本善治
其二……潮田千勢子
其三……久保無二雄
其四……山脇房子
其五……法學博士 松波仁一郎
○家事整理の要訣……佐治實然
○貯金經驗談……山縣五十雄
○家庭遊戯……井口あくり
○育兒家政問答……コーツ夫人
○少女日記……巖本きよ子
○桃將軍の歌……平木白星
○牧童（お伽噺）……稻澤ゐい子
○家庭料理○茶ばなし○新聞の新聞○記者より○餘談

發兌元　東京神田區南甲賀町八番地　内外出版協會

をんな

◎本誌の目的は婦人をして常識に富み、世態に通じ、以て婦人の人格を高めんを期するに在り。されば、其所説、新に流れず、舊に泥まず、一宗一派に偏らず、而も世に阿りて、徒らに俗流の歡心を迎へず。◎本誌は、輕佻浮華の弊風を避けんが爲に、表紙口繪など、不要の裝飾を省きて、專ら記事の精選を努む。◎本誌に收錄する所は、普通婦人雜誌に掲載する文學上、家政上の記事のみに止めずして、一科學の大意を掲て、學理の概念を得しめ、一和漢洋名著の綱要を掲げて、諸書の渉獵に便せしめ、一法制理財等の事を平易にもして、世態に通ぜしむ。◎本誌は、野卑なる言語及び猥褻等なる懸の文字を避け、下品なる廣告を掲げず。◎本誌は、勤儉貯蓄の美風を愛し、讀者の爲に、毎號慈善貯金切手を附して、其模範を示す。◎本誌を獎勵せん爲に、讀者は、みやび會員となり、其歌、文を本會に送付して、名家の批評添削を受くることを得。

毎月一回十五日發行毎號紙數百四十頁
定價拾五錢全國無遞送料

發行所　麹町區下二番町三十七番地　大日本女學會

帝國貯蓄銀行
銀座一丁目河岸通り　電話新橋八一六番

本郷一丁目　本郷支店
飯倉ノ辻　飯倉支店
赤坂表一丁目　赤坂支店
四谷大通り　四谷支店
南品川一丁目　品川支店
横濱吉田町　横濱支店
牛込神樂坂　神樂坂支店
神田須田町　須田町支店
兩國米澤町　米澤町支店
淺草雷門前　吾妻橋支店
代理店　日本橋坂本町　田中銀行

●一錢以上何程にても御預り最も御便利に取扱申候
●毎月五日迄の御預け金は全月分の利子を付け申候

一女子部（普通科）五拾名

卒業者は東京に於ては甲種檢定を出願し得べし○授業は毎日午後三時より始む○本人の希望により一科若くは數科を修むるを得
右募集す、志願者は四月十日迄に願書（無試驗入學の資格あるものは當該官衙若くは學校の證明を要す）を差出すべし、規則入用者は郵劵貳錢を送れ。

明治三十六年三月
東京牛ケ淵　日本體育會
體操學校

◎女學生監督◎

近來府下留學女學生の風紀に感ずる處あり夫、洋行の留守中五ヶ年間女學生七八名を限り自宅に預り望の學校に通學せしめ夜間は望に應じ英語並にオルガンを教授す

東京市小石川區春日町四十三番地
英和女學校出身　近藤れん

家庭割烹講義錄

◎會員募集 ○六ヶ月卒業後期一卷發行

家庭に於る食物改良を謀らむ爲め通信教授を開き既に前期六卷の講義を卒り家庭庖厨唯一の良書たる評を得たり今回更に後期の課業を開く○前期に比すれば科目を加へ左の講師の講義を掲載す○本課講師共立女子職業學校教師井上善兵衛（日本）外務大臣官邸庖厨主任宇野彌太郎（西洋）課外講師治庖會教授赤堀峯翁女子大學教師赤堀峯吉宮内省大膳職庖士綠川幸二郎葉山御用邸調魚監督松本常次郎女子大學教師渡邊鎌吉鰻其他川魚調理方（重箱）大谷儀兵衛鮓（與兵衛ずし）小泉與兵衛支那割烹清國公使館揚德山の諸先生とす○規則書入用の向は二錢切手を要す

東京神田區佐久間町四丁目
（電話本局二六四九番）
家庭割烹實習會

割烹新聞

三月十日二號發行
毎月二回發行

割烹新聞は家庭割烹實習會の機關紙なり汎く會員以外に本會の目的を普及せんが爲に發行す、調理法同新案飲食物材料家事衛生家事經濟學校割烹科飲食店菓子舖料理人の消息等凡そ内外割烹界の記事は網羅して遺すなし以て本會の目的たる飲食物の改良進歩を謀るの用に供す
定價一部四錢十部前金三十五錢郵劵代用謝絶す

新刊廣告
◎坪内文學博士校閲監督

通俗世界文學

見よ!!!

▲世界文學は古今の傑作を網羅し
▲血あり肉ある原作の全影を邦文をもて最も巧に縮寫せるものは本書也
▲文學研究者の好楷梯、一般國民の最上の讀物

毎篇頗美本泰西名書數葉入

第一編　ミルトン 失樂園物語　繁野天來氏著
第二編　沙翁物語 マクベス外二編　杉谷代水氏著

全部五拾篇毎月發行毎篇紙數百五十頁●正價金廿錢六册金壹圓拾四錢十二册金貳圓廿二錢廿五册金四圓六拾錢五十册金九圓郵税一册ニ付金四錢ッ、毎月一冊宛發行

發兌元　東京神田裏神保町　合資會社 富山房

明治三十六年三月廿五日發行（毎月十日廿五日二回）
明治三十五年三月廿七日第三種郵便物認可

發行兼印刷人　山澤俊夫
編輯人　手島益雄
發行所　大日本女學會內

印刷所　東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地　株式會社秀英舍第一工場